

UMAPを基盤とする SDGs オンライン協働学習プログラム

“Online Exchange Program (OEP)”に関するガイドライン

1. OEP (Online Exchange Program)における科目設置:

本プログラムでは、原則として同期配信されるオンライン授業で双方向コミュニケーションが確保される授業を対象としますが、例外を排除するものではありません。可能な限り、学生参加型の授業を目指しています。授業のテーマは SDGs に関連するもの、あるいは環境問題にかかわる授業を指定してください。

2. OEP を通じて受け入れる学生数と授業料について:

参加機関は SDGs または環境問題にかかわる授業の中から 1 科目～5 科目程度を登録し、各科目で最低でも 2 名の学生を他機関から受け入れる準備をしてください。また、各参加機関は受入予定の学生数と同数の学生をオンライン相互履修に参加させることができます。仮に受入機関の条件が許せば、自機関の受入予定数を超える学生を送り出すことも可能です。授業料相互不徴収の原則により、参加学生は授業料の支払いを免除されます。

3. 参加学生が履修可能な科目数:

参加学生は OEP 登録科目の中から、一人につき最大 2 科目まで履修志望をすることが可能です(記入は第 4 候補科目まで可能)。これはできるだけ多様な学習機会を提供しようという理念に基づいています。

4. 申し込み

参加学生は、最初に所属機関の担当コーディネータ等から OEP への申し込みについて許可を得た上で、指定のオンライン申し込みフォーム URL から申し込みをしてください。(オンラインフォームの URL は OEP 事務局〔東洋大学〕より別途通知があります)。

5. 参加学生による履修の取り下げ:

原則として、学生は申請した科目の取り下げをすることは認められません。しかし、予期しない状況変化などにより、履修申告の取り下げを行う場合は、在籍機関の担当者を通じて、受入機関および OEP 事務局(東洋大学)にすみやかに通知しなければなりません。

6. コース修了報告:

受入機関は学期修了後にOEP事務局に受入学生の修了状況(UCTSによる単位換算を含む)を報告することが求められます。受入機関は**成績証明書**を発行し、参加学生が在籍機関に単位認定の申請を行うことができるように配慮します。単位認定については、UCTS 基準による認定を推奨します。

(参考): UCTS: UMAP Credit Transfer Scheme (UCTS ガイド)

(http://umap.org/wp-content/uploads/2019/12/UCTS_Users_Guide_Revision-1.1.pdf).

<OEP プログラムの実施スケジュール>

0. 5月8日~5月15日 OEP「募集要項」作成、UMAP IS へ配信依頼 (15日)

1. 5月15日~6月23日 プログラム・コール (参加機関の申込期間)

2. 6月24日~7月6日 プログラムをチェック・調整 (一覧表作成)

3. 7月7日 参加機関へ結果通知

学生に周知 (提供科目・曜日時限・単位・担当者・募集人数)

4. 7月10日~7月24日 学生申込期間 (募集受付) ※第4履修希望まで

5. 7月25日~8月3日 マッチング・配置調整

6. 8月4日 学生及び各機関に申込結果周知 (履修確定) ⇒ 各機関の履修手続へ